

TOKYO WONDER SITE On Site Labo lecture series

昨年度、たくさんの方にご参加いただき、好評のうちに終了した市原研太郎氏によるレクチャー・シリーズの第2弾を開催します。今回は「グローバル化した現代美術—絶対に新しいアートを求めて」というテーマでしたが、第2弾は最終回に提出された「イメージ」の問題を深く掘り下げてゆきます。レクチャーでは、アーティストをゲストに迎えてのトークも検討中です。皆様のご参加をお待ちしています。

市原研太郎 現代アート講座シリーズ vol.2 〈イメージ〉をめぐる5つのレクチャー

program

- 第1回 4/26(火) インロダクション—現在、なぜイメージを用いた作品が非常に多いのだろうか？
- 第2回 5/17(火) イメージの歴史を辿る—古典的イメージと現代のイメージの相違は？
- 第3回 5/31(火) 90年代の映像作品の隆盛—ビデオ・アートを中心として
- 第4回 6/21(火) 現代のイメージの問題—イメージのリアリティをめぐる
- 第5回 7/12(火) イメージの新たなパラダイム—「内在」と「外在」という大きな枠組みのなかで

PROFILE

市原研太郎

美術評論家。京都造形芸術大学教授。著書に「リヒター」「ホルケ」「マイク・ケリー」(すべてワコウ・ワークス・オブ・アート刊)。大御所の作家評ばかりでなく、数々の国内外の新旧アーティストを幅広くとりあげ、評論している。個々の作品への眼差しばかりではなく、現在進行形の美術の広範囲な動向や変化に注意が向けられている。最近では、21世紀における現代美術の可能性について思索中。また、「After the Reality」(2004年、Hiromi Yoshii 画廊)などの展覧会企画も行う。



第1回 2005年4月26日[火]午後7時～ (開場：午後6時30分)

参加費：1回お一人様1000円 (5回通し券4000円) 定員:50人
会場：トーキョーワンダーサイト

定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。ファックスの場合は下記のお申し込み欄にご記入下さい。

On Site Labo lecture series お申し込み

住所・氏名・電話を明記の上、FAXまたはe-mailでトーキョーワンダーサイトまでお申し込みください。

フリガナ お名前		職業	
ご住所			
電話	FAX	e-mail	

お客様から個人情報をご提供いただく場合、その情報は、お客様からのお問い合わせおよびご要望に対して回答または対応する目的、または個人情報をご提供いただく際に予め明示する目的のみに利用いたします。お客様の個人情報をこれら正当な目的以外に開示して利用することはありません。詳細は当座席をご参照下さい。http://www.tokyo-ws.org/

トーキョーワンダーサイト

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16

2-4-16 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan

TEL : 03-5689-5331 FAX : 03-5689-7501 e-mail: info@tokyo-ws.org